介護休業取得事例記載例

**介護休業の取得事例**

所　 属 ： 製造部　企画課

氏　 名 ： 厚労 太郎さん

取得期間： １回目：○○年○月○日～○月○日、２回目：○○年○月○日～○月○日

（取得したきっかけ）

（介護休業中、復職に向けてどのように対応したか）

（復帰後の働き方と介護について）

（介護休業を取得した感想）

（これから介護に直面する職員へのメッセージ）

【上司からのメッセージ】

　当課での介護休業取得は厚労さんが初めてでした。介護はいつ始まるか分からないとは正にそのとおりで、厚労さんから相談を受けたときは突然のことで驚きましたが、休業中に介護の体制を整えて、復職後も仕事と介護を両立しながら引き続き活躍されており、頼もしく思います。

みなさんも、家族の介護に直面した場合は、いつでも相談してください。ひとりで抱え込まないことが大切です。

介護両立支援制度等利用事例記載例

**○○制度の利用事例**

所　 属 ： 製造部　企画課

氏　 名 ： 厚労 花子さん

利用期間： ○○年○月○日～○月○日

（利用したきっかけ）

（利用にあたって準備したこと（仕事面））

（利用にあたって準備したこと（家庭面））

（制度利用中の働き方と介護について）

（○○制度を利用した感想）

（これから介護に直面する職員へのメッセージ）

【上司からのメッセージ】

　厚労さんの○○制度利用にあたり、課内の連絡体制の見直しを行いました。突発的な事情で休まざるを得ない人が発生した場合でも、円滑に業務が継続できる組織となりました。

　引き続き、家族の事情に対応し、両立支援制度を活用して働き続けられる環境を整えていきます。

介護休業及び両立支援制度等

取得・利用促進方針周知例

**我が社は仕事と介護を両立する社員を積極的にサポートします！**

**社長からのメッセージ**

**社長の顔写真**

**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□**

**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□**

**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□**

**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□**

**□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□**

**～我が社の目標～**

**介護を理由として退職する社員を生じさせない。**

**介護休業や介護休暇等の両立支援制度を積極的に活用してください！**

そのためにも、

●全労働者に対し年に１回以上仕事と介護の両立に関する研修を実施します！

●仕事と介護の両立に関する相談窓口を設置します！

 ●介護に直面した旨の申出をした方に対し、個別に制度を周知するとともに介護休業や介護両立支援制度等の取得・利用の意向を確認します！

　　●介護に直面する前の早い段階（40歳等）の方に対し、介護休業や介護両立支援制度等に関して情報提供を行います！

仕事と介護の両立支援制度概要

介護終了

（要介護状態の解消等）

要介護状態

（制度利用可能な状態）

介護休業①

３回まで
分割可能

通算93日

3回まで分割可

介護休業③

介護休業②

所定労働時間の短縮等の措置（注）

３年の間に２回まで

介護休暇

所定外労働の制限

時間外労働の制限

深夜業の制限

|  |  |
| --- | --- |
| 介護休業等に関する相談窓口、制度利用の申込先 | ○○部△△課　□□□□（内線○○、メールアドレス△△） |

（注）事業主は、介護のための所定労働時間の短縮等の措置として、（１）短時間勤務の制度、（２）フレックスタイム制、（３）始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、（４）労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度のいずれかを講ずる必要があります。選択して講じた措置について記載してください。